

科目名		国語Ⅰ（現代文・漢文）（ JapaneseⅠ ）							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	電気工学科 物質工学科	履修	2 単位	必修	講義	通年	60 時間		
担 当 教 員		【常勤】教授 薄井 信治							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達 目標レベル	・文章や詩歌の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける(復習カード、定期試験) ・問題の考え方や解き方を身につける(口頭試問、復習カード、定期試験) ・漢字テストで平均80点以上とれる(小テスト) ・詩歌の鑑賞文を指定の形式で書ける(レポート) ・原稿用紙5枚の読書感想文が書ける(レポート) ・年間20冊以上の本を読み、「一行感想カード」と「4行読書感想カード」が書ける(レポート)								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安	最低限の到達レベルの 目安	未到達レベルの 目安					
到達目標 ①	復習カードに、要点を適切な説明文で3行以上、3つ書ける。	復習カードに、要点を3行以上、2つ書ける。	復習カードに、要点を箇条書きで3行以上、3つ書ける。	復習カードが提出できない。					
到達目標 ②	漢字テストで8割以上正答できる。	漢字テストで7割以上正答できる。	漢字テストで6割以上正答できる。	漢字テストで5割しか正答できない。					
到達目標 ③	レポートを指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。	レポートを指定の形式で書ける。	レポートを指定の字数で書ける。	レポートを提出できない。					
学習・教育到達目標		(G)①		JABEE基準1(2)					
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	5	15	10			10	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○	○			◎	
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【論理的思考力】	○	○							
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									

関 連 科 目 、 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	
教科書	「精選国語総合」(東京書籍)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)
学 習 上 の 留 意 点	
教科書とノートを忘れずに持って来なければならない。そうしなければ、教科書本文から答えを探す問題や前回ノートに書いたことを答える問題ができずに、口頭試問点が減点になる。 「小テスト」は、漢字テストが中心である。 「その他」は「復習カードの提出」である。授業のポイントを3行程度の短い説明文にすることで、要点をまとめる力、短文を書く力を身につけてもらいたい。 ※注意 国語 I (3単位)の最終成績は、国語 I (現代文・漢文)と国語 I (古文)を2:1として評価する。	
担 当 教 員 か ら の メ ッ セ ー ジ	
授業では、教科書を読む、説明を聞く、ノートをとる、問題を考える、指名されて答える、をほぼ同時に行う。同時に行うことで、脳を活性化させていこう。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 評論(1)①	国語の授業の進め方、ノートのとり方などについて理解できる。復習カードの書き方を理解できる。	(復習)復習カードを書く。
2	評論(1)②	内山節「時間と自由の関係」を読んで評論文の読み方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
3	評論(1)③	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる	(復習)復習カードを書く。
4	評論(1)④	・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる	(復習)復習カードを書く。
5	漢文入門①	漢文を学習する意味を理解する。	(復習)復習カードを書く。
6	漢文入門②	・現代語を古語にする方法を理解できる ・熟語を訓読する方法を理解できる	(復習)復習カードを書く。
7	故事・成語	「推敲」「漁夫之利」を読んで短い訓読漢文の読み方を身につける。 ・訓読漢文を音読できる ・背景を理解できる	(復習)復習カードを書く。
8	寓話	・句法を正確に理解し、適切な日本語で現代語訳できる ・復文ができる	(復習)復習カードを書く。
9	前期中間試験		
10	答案返却・解説 評論(2)①	試験解説により、問題の解き方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
11	評論(2)②	岩井克人「広告の形而上学」をもとに評論文の読解の仕方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
12	評論(2)③	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる	(復習)復習カードを書く。
13	評論(2)④		(復習)復習カードを書く。
14	評論(2)⑤		(復習)復習カードを書く。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 表現	試験解説により、問題の解き方を理解する。 読書感想文の書き方を理解する。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	短歌①	短歌の読解の仕方を理解し、鑑賞文を書くことができる。	(復習)復習カードを書く。
17	短歌②	・日本語のリズムを理解し、そのリズムで音読できる ・文法事項を理解し、短歌を正確に鑑賞できる ・鑑賞文を指定の様式で書くことができる	(復習)復習カードを書く。
18	評論(3)①	福岡伸一「生物の多様性とは何か」をもとに評論文の読み方を高める。	(復習)復習カードを書く。
19	評論(3)②	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる	(復習)復習カードを書く。
20	評論(3)③	・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる	(復習)復習カードを書く。
21	評論(3)④		(復習)復習カードを書く。
22	史話	「晏子之御」(史記)をもとに史話の読み方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
23	後期中間試験		
24	答案返却・解説 唐詩①	試験解説により、問題の解き方を理解する。	(復習)復習カードを書く。
25	唐詩②	唐詩の読解の仕方を理解し、鑑賞文を書くことができる。	(復習)復習カードを書く。
26	唐詩③		(復習)復習カードを書く。
27	評論(4)①	港千尋「テルミヌスの変身」をもとに評論文の読み方を深める。 パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる	(復習)復習カードを書く。
28	評論(4)②	・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる	(復習)復習カードを書く。
29	評論(4)③	・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる	(復習)復習カードを書く。
	学年末試験		
30	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、問題の解き方を理解する。	
総 授 業 時 間 数			60 時間

科目名		国語 I（古文）（Japanese I）							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	電気工学科 物質工学科	履修	1 単位	必修	講義	前期	30 時間		
担 当 教 員		【常勤】 准教授 赤迫 照子							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達 目標レベル	(1)読む力: 文法事項を理解し、作品を読解できる。様々な視点から古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。 (2)書く力: 授業の内容をノートにまとめることができる。鑑賞した内容を論理的な文章で書くことができる。 (3)話す力: 適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。 (4)聞く力: 授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安	最低限の到達レベルの 目安	未到達レベルの 目安					
到達目標 ①	文法事項を理解し、作品を鑑賞できる。多様な視点で古典文学を鑑賞できる。文学史の流れを把握できる。	文法事項を理解し、作品を読解できる様々な視点から古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。	文法事項の理解は不十分であるが、作品を読解できる。古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。	文法事項が理解できず、作品を読解できない。古典文学に親しむことができない。文学史の基礎知識を習得できない。					
到達目標 ②	授業内容をノートにまとめ、適宜見直すことができる。論理的な文章が書ける。	授業内容をノートにまとめ、適宜見直すことができる。論理的な文章が書ける。	授業内容をノートにメモをすることができる。論理的な文章を書くために必要なことが説明できる。	授業内容をノートにメモすることができず、板書も写せない。論理的な文章を書くために必要なことが理解できていない。					
到達目標 ③	文のリズムを意識しながら適切に音読できる。根拠を明示し、説明手順を意識しながら自分の意見を述べることができる。	適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。	音読ができる。自分の意見を述べることができる。	音読ができない。自分の意見を述べることができない。					
到達目標 ④	授業のポイントを的確に聞き取って情報を整理し、ノートのまとめ作業に繋げることができる。	授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。	授業のポイントを的確に聞き取ることができる。	授業のポイントを聞き取ることができない。					
学習・教育到達目標		(G)①		JABEE基準1(2)					
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	35	10	20					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【 】	○	○							
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									

関 連 科 目 、 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	
教科書	「精選国語総合」(東京書籍)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、国語辞書
学 習 上 の 留 意 点	
・提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること ・図書館にある教科図書を活用する。各自で閲覧し、学習しておくこと。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 ※注意 国語Ⅰ(3単位)の最終成績は、国語Ⅰ(現代文・古文)と国語Ⅰ(漢文)を2:1として評価する。	
担 当 教 員 か ら の メ ャ セ ー ジ	
高専では低学年の間に、基礎学力をしっかりと身につけます。中でも国語は、基礎学力の要です。膨大な知識を吸収し、自分で考える力を鍛え、他者と関わる方法を身につけるために、しっかり取り組みましょう。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 古文入門 説話集(一)①	シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。	予習と復習:シラバスを熟読する。
2	古文入門 説話集(一)②	「児のそら寝」(『宇治拾遺物語』)を読み、古文を味わう方法を身につける。	予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
3	古文入門 説話集(一)③	・古文のノートの作り方を学習する。 ・歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を学習する。 ・説話文学の基礎知識を習得する。 ・場面を読解し、鑑賞する。	
4	古文入門 説話集(一)④		
5	変体仮名を読む		
6	説話集(二)①	「検非違使忠明」(『宇治拾遺物語』)を読み、古文を味わう方法を身につける。	予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
7	説話集(二)②	・歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を学習する。 ・説話文学の基礎知識を習得する。	
8	説話集(二)③		
9	前期中間試験		
10	答案返却・解説	試験解説により、問題の解き方を理解する。	
11	和歌①	和歌を読み、鑑賞のための基礎知識を習得する。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 ・修辞法を理解できる。	予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
12	和歌②		
13	和歌③		
14	古語について	「古文の広がり」を読み、時代とともに語意が変化する様相について理解する。	予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、問題の解き方を理解する。	
総 授 業 時 間 数			30 時間